



政労使が結集し決意を固め合う

## 「JR産業に関わる緊急政策課題の 解決にむけた決起集会」

開催される！

JR連合及び、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」は、11月25日、衆議院第2議員会館にて『JR産業に関わる緊急政策課題の解決にむけた決起集会』を開催し、JR産業を取り巻く政策課題の解決に、政労使が力を結集する決意を固め合った。

集会には、フォーラムへ加入する国会議員をはじめ、来賓には国土交通省上原淳鉄道局長、交運労協住野敏彦議長、JR7社の代表が招かれた。冒頭の、榛葉賀津也会長(参・静岡・国民)の主催者代表挨拶に続いて、JR連合荻山市朗会長から、要求実現に向けた署名22万3525筆が集約されたとの報告等がなされ、その後、来賓の



挨拶を受けたのち、各単組代表から署名用紙が榛葉会長へと手交された。あわせて、各単組から、直接働く者の切実な思いを、現場からの声として届けられた。

同集会は、尾形泰二郎事務局長の課題提起と、『JR産業の持続的発展と働く者の生活・雇用を守るための、経営支援の実現に向けた特別決議』の採択を経て、ZoomでWeb視聴する多くの仲間も含め、榛葉会長の“がんばろう三唱”で締めくくられた。

地域の経済・社会を支えるためにも、JR産業の持続的な発展をめざし、働く仲間が、安心して働き続けることのできる環境を構築していこう！